

報道機関各位

令和7年3月11日  
福島国際研究教育機構

## 令和6年度 第1回 F-REI 産学官ネットワーク・セミナーの開催について（取材のご案内）

平素より福島国際研究教育機構（以下「F-REI」という。）の取組に関し、多大なるご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

この度、福島県内だけでなく県外の企業も巻き込んだ産学官の連携体制構築を目的に、令和7年3月17日（月）に、福島県内で初となる産学官ネットワーク・セミナーを郡山市で開催しますので、ご案内いたします。

記

### 1. 日時

令和7年3月17日（月）13:00～17:35（開場：12:30）

### 2. 場所

ホテルハマツ 3階平安の間（福島県郡山市虎丸町3-18）※オンライン配信も予定

### 3. プログラム

#### ■ 第一部 フォーラム

- (1) F-REI 研究の概要説明（江村克己 F-REI 理事）
- (2) 2025年WRS本大会の概要説明（野波 健蔵 F-REI ロボット分野長）
- (3) 研究紹介
  - ①「F-REI 発リアルハプティクス技術が拓く産学連携」（大西 公平 F-REI 遠隔操作研究ユニットリーダー）
  - ②「新しいアクチュエータの開発とロボットへの応用」（鈴木 康一 東京科学大学教授）※ビデオ講演
  - ③「水中ロボット技術の社会実装に向けた取り組み」（石井 和男 九州工業大学教授）

#### ■ 第二部 産学連携セミナー

- (1) F-REI が目指す産学連携（野口 康成 F-REI 執行役）
- (2) 国内の産学連携事例
  - ①「素人集団によるあくなき挑戦」（佐藤 順英 (株)ビーエイブル 代表取締役）
  - ②「繋がることで加速する産学連携」（樽川 千香子 アルファ電子(株) 代表取締役社長）
  - ③「リアルハプティクスによるプラント運転現場の革新～慶應義塾大学との産学連携の取り組み～」（古家 秀彦 日鉄エンジニアリング(株) 執行役員）

④「日本発ドローンスタートアップと産学官連携について」（鷲谷 聡之 (株)ACSL 代表取締役 CEO)

### ■ 第三部 ディスカッション

第一部と第二部の登壇者によるパネルディスカッションを実施します。

#### ○モデレーター

松野 文俊 F-REI ロボット副分野長

#### ○パネリスト

野波 健蔵 F-REI ロボット分野長

大西 公平 F-REI 遠隔操作研究ユニットリーダー

佐藤 順英 (株)ピーエイブル 代表取締役

樽川 千香子 アルファ電子(株) 代表取締役社長

古家 秀彦 日鉄エンジニアリング(株) 執行役員

鷲谷 聡之 (株)ACSL 代表取締役 CEO

## 4. 主催

福島国際研究教育機構

## 5. 共催

株式会社東邦銀行

## 6. 後援

復興庁、経済産業省、福島県、郡山市、福島相双復興推進機構、福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島民報社、福島民友新聞社

## 7. 取材について

- ・取材を希望される方は、別添様式に必要事項を記入の上、令和7年3月14日（金）12:00（必着）までに事前登録先に提出してください。
- ・取材に当たっては、現地担当者の指示に従ってください。
- ・取材をされる方は、当日、社名入りの腕章を着用の上、会場前にて名刺をお渡しいただきますようお願いいたします。
- ・取材される方は、開始 15 分前までに会場受付へお越しください。
- ・資料については、会場にて配布いたします。
- ・セミナー終了後に記者ブリーフィングを実施します。
- ・開催中止又は時間等に変更が生じた場合は、御登録いただいた代表者の連絡先にお知らせします。

### 【本件問い合わせ先】

福島国際研究教育機構

国際・産学官連携推進課 大島、板橋

電 話：0240-41-9989

メール：f-rei\_sanrenka@f-rei.go.jp

(別添様式)

福島国際研究教育機構 研究開発推進部国際・産学官連携推進課 御中

【事前登録先】 E-Mail: f-rei\_sanrenka@f-rei.go.jp

【問合せ先】 国際・産学官連携推進課 (大島、板橋)

【令和7年3月14日(金)12:00 必着】

## 取材申込書

令和7年3月17日(月)開催の令和6年度第1回 F-REI 産学官ネットワーク・セミナーについて取材を希望します。

1. 会社名及び部署名
2. 取材者 役職・氏名(全員の役職・氏名を記入)
3. テレビカメラの持ち込みの有無
<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
4. 代表者の連絡先
(電 話)
(E-Mail)

※取材は、セミナー終了後の時間のみ可能です。

# 令和6年度第1回 F-REI産学官ネットワーク・セミナー

～“なりわい”における最先端技術の応用～



**日時：令和7年3月17日（月）**  
**13：00－17：35（開場：12：30）**

**会場：ホテルハマツ3階平安の間**  
**（福島県郡山市虎丸町3－18）**

**対象者：福島県内外の企業、自治体、大学・研究機関等**  
**200名程度 ※オンラインでも配信予定**

**参加費：無料** 〔※御参加には事前申込が必要です。詳細については機構HPをご覧ください。下記問合せ先までご連絡ください。〕

令和5年4月に福島県浪江町で開所した福島国際研究教育機構（F-REI）が福島県内で初となるネットワーク・セミナーを開催します。本セミナーでは、『“なりわい”における最先端技術の応用』と題して、第一部で、F-REIが実施する最先端のロボット研究等の紹介を行い、第二部では、福島県内外の企業からの産学連携事例の紹介を行います。そして第三部では、企業との共同研究等、F-REIの研究成果の社会実装を目指すうえで取り組むべきことについてのディスカッションを行います。

また、会場では、F-REIでの委託研究等の成果報告を目的としたポスターの掲示の他、ハプティクスに関する実験装置の展示を行います。

## ◆プログラム

### ■第一部 フォーラム

- (1) F-REI研究の概要説明（江村 克己 F-REI理事）
- (2) 2025年WRS本大会の概要説明（野波 健蔵 F-REIロボット分野長）
- (3) 研究紹介
  - ① 「F-REI発リアルハプティクス技術が拓く産学連携」（大西 公平 F-REI遠隔操作研究ユニットリーダー）
  - ② 「新しいアクチュエータの開発とロボットへの応用」（鈴森 康一 東京科学大学教授）※ビデオ講演
  - ③ 「水中ロボット技術の社会実装に向けた取り組み」（石井 和男 九州工業大学教授）



### ■第二部 産学連携セミナー

- (1) F-REIが目指す産学連携（野口 康成 F-REI執行役）
- (2) 国内の産学連携事例
  - ① 「素人集団によるあくなき挑戦」（佐藤 順英 (株)ピーエイブル代表取締役）
  - ② 「繋がることで加速する産学連携」（樽川 千香子 アルファ電子(株)代表取締役社長）
  - ③ 「リアルハプティクスによるプラント運転現場の革新  
～慶應義塾大学との産学連携の取り組み～」（古家 秀彦 日鉄エンジニアリング(株)執行役員）
  - ④ 「日本発ドローンスタートアップと産学官連携について」（鷲谷 聡之 (株)ACSL 代表取締役CEO）

### ■第三部 ディスカッション

「最先端技術が支える日本・東北・福島の未来」（第一部、第二部登壇者）

※セミナー終了後には、同フロアの別会場にて、F-REI関係者をはじめ、参加者同士の名刺交換や意見交換の場として19：30まで交流会を開催します。詳細は機構HPにてお知らせします。

#### 【問合せ先】

■主催：福島国際研究教育機構 研究開発推進部 国際・産学官連携推進課 大島 板橋  
〒979-1521 福島県双葉郡浪江町権現堂矢沢町6-1  
TEL：0240-41-9989 E-mail：F-REI\_sanren\_event@f-rei.go.jp

◆共催：株式会社東邦銀行

後援：復興庁、経済産業省、福島県、郡山市、福島相双復興推進機構、  
福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島民報社、福島民友新聞社

